

|        |   |
|--------|---|
| 学校教育目標 | 心豊かで たくましい 広い世界に生きる 人間の育成   |
| 目指す学校像 | 地球規模で考え、足元から行動する生徒の育成   |
| 重点目標   | 1 学習の基盤となる資質・能力を育成する学習指導の充実<br>2 安心・安全な学校生活を目指し、自尊感情を高める生徒指導・教育相談と学校行事の充実<br>3 コミュニティ・スクールの着実な推進と保護者・地域との連携強化<br>4 安全・安心で学べる教育環境の整備と危機管理意識の醸成<br>5 SDGsの実現を目指したESD(持続可能な開発のための教育)の研究実践による教職員研修の充実 |

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

|     |   |              |
|-----|---|--------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成 (8割以上)  |
|     | B | 概ね達成 (6割以上)  |
|     | C | 変化の兆し (4割以上) |
|     | D | 不十分 (4割未満)   |

学びの質の向上に関する取組

心の子どもの発達やサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

| 学校自己評価 |  |  |  |   |           |     |             | 学校運営協議会による評価        |  |  |
|--------|--|--|--|---|-----------|-----|-------------|---------------------|--|--|
| 年度目標   |  |  |  | 年度評価  |           |     |             | 実施日令和8年2月5日         |  |  |
| 番号     | 現状と課題  | 評価項目   | 具体的方策  | 方策の評価指標   | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 | 学校運営協議会からの意見・要望・評価等 |  |  |
| 1      | (現状)<br>○令和7年度全国学力・学習状況調査では、平均正答率が国語は全国、市平均よりやや低いが数学は全国平均より高く市平均と同等である。また質問調査では、「自分にはよいところがあると思いますか」「学校に行くのは楽しいですか」では、全国、県を大きく上回っている。<br>○授業中多くの生徒は真面目に取り組んでいるが、教科や内容によって個人差が大きい。<br>(課題)<br>○全国学力・学習状況調査の結果から国語、数学ともに多くの領域等別・観点別調査において課題が見られる。<br>○学校評価で「授業でわかった・できた」の項目で生徒と保護者の認識の相違が見られる。 | 分かる授業による基礎学力の定着<br><br>ICTを活用した主体的・対話的で深い学びの授業実践     | ①基礎学力を向上させるために授業として位置付けて取り組む。<br>②全教員が分かる授業を実施し、生徒の学習意欲を高め、知識・技能の習得を図る。  | ①基礎学力定着データを5回以上設定したか。<br>②学校評価アンケートの「授業でわかった・できた」の評価項目で生徒・保護者の肯定的な回答90%以上。  |           |     |             |                     |  |  |
| 2      | (現状)<br>○心と生活のアンケート結果から、自己肯定感の低い生徒が見られる。<br>○日頃の生活の様子から、ストレスや不安感、人間関係のトラブルなどを抱えている生徒も少なくない。<br>(課題)<br>○自己肯定感の低い生徒が安心・安全な学校生活を送れるよう、学校行事や授業を通して生徒一人ひとりの達成感や達成感、自己有用感が感じられるよう教育活動を工夫する必要がある。<br>○いじめの撲滅と不登校生徒の減少に向けて、組織的に積極的な生徒指導・教育相談体制の更なる充実が必要である。   | 自尊感情を高める生徒指導・教育相談の体制の充実<br><br>自己肯定感を高める学校行事や特別活動の実施 | ①毎週開催する生徒指導委員会及びいじめ対策小委員会、教育相談委員会で情報共有のみならず生徒一人ひとりの対応を協議し組織的に対応する。<br>②生徒一人ひとりに寄り添い、自己肯定感を高められるような声掛けや2者面談を行う。 | ①学校評価アンケートの「相談事や悩みを相談できる人がいる」の評価項目で生徒・保護者の肯定的な回答87%以上。<br>②心と生活のアンケート及び2者面談を各学期1回以上開催することができたか。   |           |     |             |                     |  |  |
| 3      | (現状)<br>○学校運営協議会で策定した「認知症サポーター養成講座」の開催など、それぞれの立場で協力をできている。<br>○地域の社会教育施設五反田会館が開催する文化祭等で生徒の発表の場を定期的に設定している。<br>(課題)<br>○生徒が主体的に地域で活動できる場を増やすことが課題<br>○土日の部活動地域展開が実施されたことによる課題の整理と解決策の健闘   | ・学校から発信する情報の実践と学校内外との関わり<br>・部活動地域展開に関する課題が整理できたか    | ①学校の情報を積極的に発信するとともに学校公開を推進し、行事や授業等、公開できる場面を増やし、教育活動の理解を深める。<br>②教職員が地域と連携しやすい環境を整えるとともに、地域への生徒の積極的な参加を促す。      | ①ホームページの更新を定期的に行うとともにスクリーン等を活用して月に1回以上学校からの情報を発信する。<br>②地域の催し(五反田会館文化祭、老人会、ふるさと発見子ども祭り、見沼区ふれあいフェア等)の交流会への参加生徒数140名以上の参加。<br>③仮称「YAHATAクラブ」を設立することができたか。<br>④学校評価アンケートの「部活動の充実」の評価項目で生徒、保護者の肯定的な回答80%以上。 |           |     |             |                     |  |  |
| 4      | (現状)<br>○環境委員会が花植えや水やりを行ったりPTAと協力してトイレ清掃などを行ったりしている。<br>(課題)<br>○生徒総会等を活用し、生徒の自主的な活動を振り返り、生徒が主体となる学校づくりを推進する必要がある。   | ・安心して学べる学習環境の整備<br>・美しい環境づくり                         | ①管理職、事務主事による予算執行についての財務ミーティングを実施し、学校長マネジメント経費等、効果的で効率的な予算運用を図らせる。<br>②専門委員会の活性化と業務主査と連携した環境整備を行う。              | ①毎月財務ミーティングを行い、予算の執行状況を把握できたか。<br>②学校評価アンケートの「校内の環境美化」の評価項目で生徒、保護者の肯定的な回答85%以上  |           |     |             |                     |  |  |
| 5      | (現状)<br>○働き方改革への理解は進んできたが業務過多で在校時間の長い教員がいる。<br>○生徒一人ひとりに寄り添って対応する教員が多い。<br>(課題)<br>○教えるから支援(伴走)、ファシリテーターへ。<br>○ICTを活用した個別最適な学びや協働的な学びの時間の確保。<br>○業務のより一層の軽減。   | 新しい教育情報の収集に努めているか。<br><br>ESDの研究の推進                  | ①全国的な研究会、研修会、講演会へのオンライン参加も含め積極的に参加。<br>②他の教員の授業を参観し、助言し合える機会を設け、授業改善を促す。                                       | ①教職員人事評価、研修に関する自己評価Aの教職員が60%以上。<br>②各教科等で年1回以上ICTを活用した研究授業と研究協議を実施。<br>③外部講師を招聘した研修会や校内の研究組織を活発化させ、ESDの研究を推進していく。   |           |     |             |                     |  |  |